

キウイフルーツ産地の高品質安定化生産に向けた取組

■ 香川県農業協同組合中央地区キウイフルーツ部会 ■

(東讃農業改良普及センター 長尾洋輝)

●対象の概要

香川県農業協同組合中央地区キウイフルーツ部会(部会員数45名、栽培面積11.8ha)は、「さぬきゴールド」、「香緑」、「さぬきエンジェルスイート」、「さぬきキウイっこ®」を中心にキウイフルーツを生産している。当部会は高品質果実の安定生産を目指し、積極的に県オリジナル品種を導入するとともに、大玉果実生産や袋かけ栽培により他県産地との差別化を図っている。

●課題を取り上げた理由

現在、当部会は県の認定を受け、糖度など一定の品質基準を満たしたものを「さぬき讃フルーツ」として販売しており、他県産地と比較して高単価で取り引きされている。また、一般的に果樹は新規参入が少ない中、キウイフルーツは生産者が増えてきている品目である。しかし、生産者及び出荷量が増加していくに伴い、糖度上昇の悪い園地や、果実階級の低い園地など、生産者間の果実品質のバラツキが散見されるようになった。そこで、キウイフルーツの高品質安定生産に向けて、既存の生産者や新規参入者に対するきめ細かな個別支援を行うことにより、栽培技術の高位平準化と生産拡大に取り組んだ。

●普及活動の経過

1 果実品質向上の取組

生産者の中には、剪定の程度が弱く、結果母枝の整理ができていない者、不十分な摘蕾・摘果により着果過多となり果実が小玉化する者、夏枝管理等の管理不足により糖度上昇が遅れる者が散見された。そこで、主要な栽培管理ごとに講習会を開催し、作業内容や適期管理の重要性について説明した(写真1)。

また、定期的に園地巡回し、きめ細かい個別指導を行うことで、栽培技術の統一を図るとともに、収穫前には定期的に栽培園地ごとの果実分析を行い、果実硬度や果実糖度に基づく適期収穫について指導した。



剪定講習会の様子

2 個人カルテを活用した個別面談の実施

巡回指導や講習会だけでは当事者意識が低く、園地改善が見られないため、JA香川県と連携し、個別面談を実施した。面談では、出荷販売実績に基づき、収量、等級、階級比率等を記入した個人カルテを新たに作成し、出荷販売結果を数値やグラフとして見える化した(図1)。各生産者の園地の現状や問題点を把握することで、生産面の課題と次年度以降に向けた対策について協議し、果実品質の平準化を目指した。

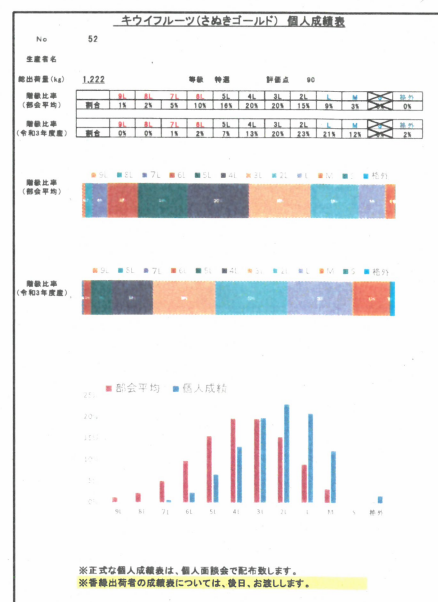


図-1 生産者ごとの個人カルテ

3 新規参入者への支援

キウイフルーツは永久樹であり、適地適作が重視されることから、新規栽培においては、園地

の選定や植栽前の土壌改良が必要となる。そこで、JA担当者と連携して、候補園地の現地確認を行い、新規参入希望者に対して、高品質な果実生産が可能な園地選定や園地改善方法を指導した。

また、キウイフルーツは、果樹棚や園地条件に応じた施設整備が必要となることから、活用できる補助事業や資金などの情報提供も併せて行った。さらに、栽培経験が浅い新規参入者については、講習会を補完するため個別巡回を増やすなど重点的に指導を行ったほか、初心者でも栽培しやすい樹形の一字整枝の導入を推進した。

●普及活動の成果

1 果実品質の向上

主要管理の指導を重点的に行った結果、令和元年から令和3年にかけて、最高糖度ランクの園地割合が増加した(図2)。

2 大玉果実の増加

個人カルテの活用により、部会の平均階級に満たない生産者がより明確になったことで、重点的に適正着果の指導が行えるようになり、大玉果実の階級割合が上昇した(図3)。

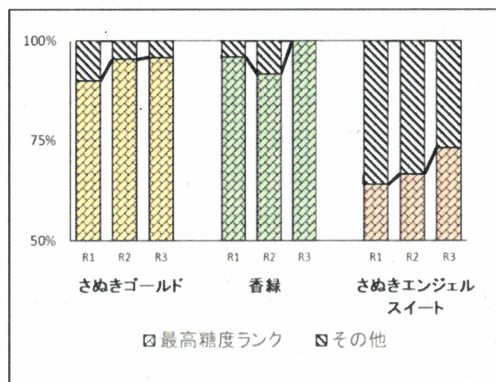


図-2最高糖度ランク園地の割合(%)

表-1 キウイフルーツの等級区分(参考)

	等級	平均糖度	最低糖度
さぬき ゴールド	黄様	14.5%以上	13.0%以上
	特選	13.5%以上	12.0%以上
	レギュラー	-	-
香緑	スイート1	15.5%以上	14.0%以上
	特選香緑 香緑	14.5%以上	13.0%以上
さぬき エンジェル スイート	特秀	17.0%以上	15.5%以上
	秀	15.0%以上	13.5%以上
	無印	-	-

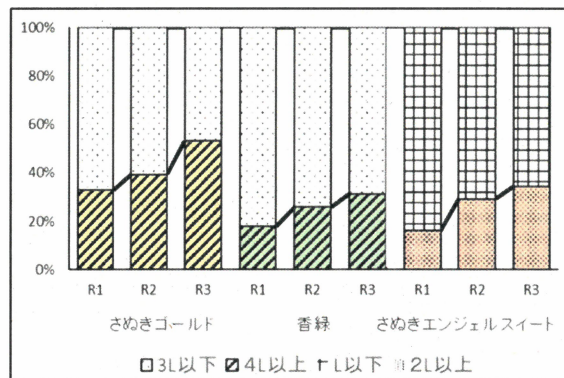


図-3 品種別の階級割合(単位%)

3 新規参入者の増加

果樹では新規参入が少ない中、令和元年から令和3年にかけて5名が新たにキウイフルーツ栽培に取り組み、既存のキウイフルーツ生産者による規模拡大を含め約0.8ha(「さぬきゴールド」0.7ha「香緑」0.1ha)の面積拡大が図られた(図4)。また、新規参入相談件数(R3年7件)も増えており、R4年度は3名が部会に加入し、県の補助事業や果樹経営支援対策事業を利用し、栽培を始める予定である。

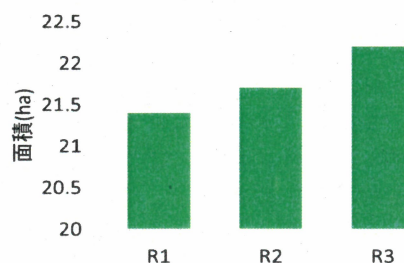


図-4 管内キウイフルーツの栽培面積推移

●今後の普及活動の課題

1 果実品質の高位平準化の推進

適正な管理をしているにも関わらず、園地の排水性に問題があり、糖度が上がらない、生育が遅れる、枯死するなど問題が生じている園地が見受けられることから、土壌改良方法等について関係機関と協力しながら検討していきたい。

2 新規参入者への支援

現在の講習会では、時間的な制約から、基本的な内容について新規生産者に十分伝えることができず、未収益期間の管理不足により成園化が遅れている園地も散見された。このため、現在の講習会に加え、新規参入者向けに、基本管理や初期管理についての講習会を別途開催し、早期成園化への指導を行う予定である。